

インドネシア小旅行

2013/1/15

2012/12/21から避寒のため約3ヶ月間ラナウに滞在することにしました。その間、家内の長年の夢であるジャワ島のジョグジャカルタ(JOG)郊外にある Borobudur 遺跡を訪れることを第一の目的にして、バリ島やジャワ島の他の名所・旧跡も訪れることにした計画を作成しました。

Webサイトを調べた結果 AirAsia ならば、KK(コタキナバル)→KL(クアラルンプール)→バリ→JOG→ジャカルタ→KK というように周遊できることが分かったので、そのような航空券を予約しました。ホテルは、バリに3泊、JOGに4泊することにして、ネット上のホテル予約代理店 AGODA を介して予約しました。インドネシアは初めて訪れる国であり、治安が気になっていたので「地球の歩き方」や AGODA のゲスト意見を参考にし安心を優先して、それほど高くないホテルを選びました。

バリ島では、空港、ホテル、観光地への移動手段を知人の紹介で知った日本語が話せるドライバー兼ガイドに依頼しました。彼の名は、I Nengah Sudi といいます。Iとは男性、Nengahとは2番目の子供を意味し、Sudiが名前だそうで、いわゆるファミリーネームは使用しないということです。非常に丁寧で良心的なガイドでしたので、彼のコンタクト情報(携帯電話番号: +62 81 657 41 27, 電子メールアドレス: inengahsudi@ymail.com)を紹介します。私は、彼の携帯電話に、電子メールを見て欲しいという主旨のショートメールを送り、電子メールで詳細な依頼内容を送りました。返事は、半日後位にやって来ました。支払いは、日本円でよく、終日ツアー料金が、¥5,000、空港の送迎料金が、片道¥1,500ということでした。何れも車1台の料金です。

JOGでは、空港、ホテル、観光地への移動手段をホテルと相談しました。空港へ迎えに来て、私の名前を記載したボードを到着ゲートで掲げてくれるように電子メールで依頼しました。空港の迎へ料金は、110,000ルピアでした。また、観光地などへの移動は、ホテルの車の場合、1時間につき100,000ルピアであり、観光業者に依頼すると、車は少し小さいけど1時間につき70,000ルピアでした。何れもバリ島同様車1台の料金です。この時期1円が約110ルピアでした。

1/5, 7:00am, スラゴンホームステイを家内と友人の3人でタクシーに乗り出発しました。KKの第2ターミナルまでのタクシー料金は150リンギです。10:55 KK 発に搭乗しKLを経由してバリに19:20に到着しました。Sudiさんに出迎えていただき、夕食をとるためホテルに向かう途中にある Blue Ocean Seafood(電話: 0361-704540)という海鮮屋台に寄りました。車



ホテルの共有スペースから宿泊用建物を眺める

えびの塩茹と魚のポイル, 野菜炒め, ご飯, 飲み物を注文し, 支払いは日本円でよく 3 人分で ¥7,000 でした. 宿泊したホテルは, **Pat-Mase Villas at Jimbaram** です. 樹木が茂った広い敷地の中にいくつもの宿泊用建物が点在しており, フロントから建物までの移動は, 車かスタッフが運転するカートで行います. 建物 4 軒ごとにプール, 居間兼食堂, 台所などの共有スペースがあります. 到着早々, 友人に割り当てられた部屋に不具合があったので部屋を交換してもらおうというハプニングがありました.

1/6, 7:30am に朝食を共有スペースに運んでもらい樹木や花々を眺めながら食事をしました.

8:30am Sudi さんの迎いの車に乗り込み, バリ島観光に出掛けました. バロンの踊り, バティック工場, 古民家, バテトアン寺院などを見物し, **Kintamari** 高原へ向かいました. 途中土砂降りに見舞われ **Kintamari** 高原に到着したときにも雨で何も見えませんでした. しかし, しばらくすると霧に霞む幽玄の世界のような **Batur** 火山と **Batur** 湖が現れました. 高原から下るときに見



事な棚田を見ることができました. 広場で子供たちのバリダンスの発表会が行われている光景に出



会い, しばらく大人の踊りを模倣したあどけないしぐさを見物しました. そのあと本格的な **Kecak & Fire Dance** を見物し, 夕食に麺をとりホテルへ戻りました.

1/7, 8:00 に共用スペースで朝食をとり, 10:00 に出発. みやげ物屋で変わったコーヒーの豆を見つけました. **LUWAK** というジャコウネコは美味しいコーヒーの実だけを食べるそうです.

排泄されたコーヒーの豆を集めて作ったものを **KOPI LUWAK** (ジャコウネココーヒー) と呼びます. 他のコーヒーより割高ですが美味しいということなので購入しました. **TANAH LOT** 寺院の景観は海と同化しており見事です. 夕日が素晴らしいということでした. 田舎道に停まっていた屋台で昼食をとりました. 豚のいろいろな部位を煮込んだもののご飯が一つの皿の上ののっており, 典型的なバリ

料理だということです。インドネシアはムスリムの国ですが、バリ島では人口の90%以上がヒンズー教徒であり、豚肉を食すそうです。バリの繁華街 Kuta をドライブし、また散策をし、途中でめがねを修理して、中華料理屋(FURAMA RESTAURANT)でソフトシェルなどを夕食としていただきました。

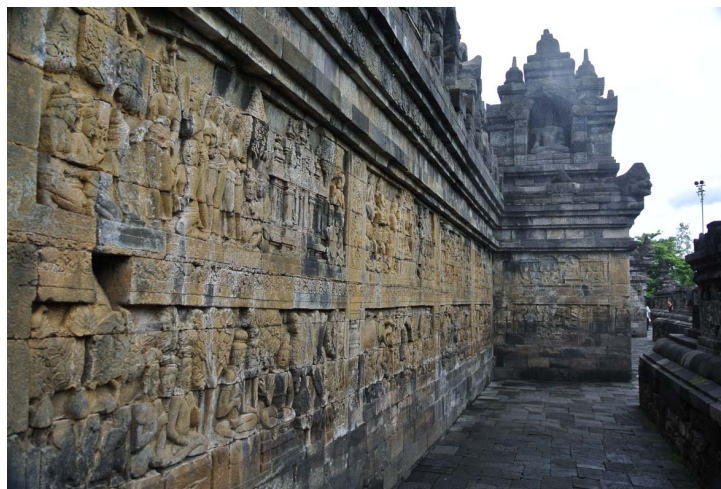
バリにはいたるところにヒンズー教の寺院があります。寺院を見下ろすことになるので、建物の高さは4階建てまでに制限されているそうです。洒落た商店街は真夏の軽井沢に似ていますが、屋根などの風情は沖縄を思わせます。狭い道路をバイクと車と人が移動します。

バリの主要産業は農業だそうです。田舎を走ると水田を多く見かけます。驚いたことに三毛作だそうです。田植えをしているところ、青々とした葉が風にそよいでいるところ、稲穂が実っているところ、稲刈りをしているところなど場所が違えば状態が異なります。3,000m級の山があり、温帯の果物が山麓で栽培されているので、りんご、みかん、ぶどうなどが収穫されます。当然のことながらドリアン、ランブータン、マンゴスチンなどの熱帯の果物も豊富に出回っていました。

道路が狭く、カーブが多く、バイクが多く、信号がない交差点が多いので、よほど慣れないと運転は難しいと思います。

1/8, 3:30 起床, 4:30 にホテルを出発し, 6:00 バリ発のフライトに登場し, 6:10 JOG に到着し, ホテルに依頼していた迎車に乗り, MELIA PUROSANI Hotel に到着しました。チェックイン後, 荷物を預け, 早速, 世界遺産である Borobudur 遺跡へ向かいました。

JOG の中心地から約 1.5 時間のドライブです。8 世紀に作られた壮大な大乘仏教のこの遺跡は、火山灰とジャングルに埋もれ、僅か 200 年前に発見されたということです。遺跡の壁面に夥しい数のレリーフがはめ込まれており、そのひとつひとつが仏教の教えを表現しており、当時は図書館の役割を果たしていたそうです。ガイドに地元の人しか入らないような薄汚い食堂に案内されて美味しいジャワ麺を昼食として食べ、ホテルへ戻りました。



5 時間のツアー代金は 650,000 ルピアでした。ジャワダンスを觀賞しながら夕食をとることにし、ホテルの送迎も含めて一人当たり 350,000 ルピアを支払いました。

1/9, 6:30 起床, 10:00 にホテルを出発し, 歩いて王宮へ出掛け, 王宮と TAMAN SARI を見学し, 徒歩でホテルへ戻りました。王宮周辺は地図を頼りに歩きましたが、道が迷路のように入り組んでいて分かり難く、苦勞しました。また、大きな道路は、車、バイクが多く、横断歩道を渡ってよいタイミングがなかなか分からない。車道が渋滞すると、バイクが歩道を走り始める、など歩行者にとって危険極まりない。人や車、バイクが溢れており、別の言い方をすれば街中が活気(エネルギー)に

満ちているというであり、この地は、今後、大いに発展するでしょう。昼食はホテルでケーキとお茶で済ませました。夕食は、Taxi (15,000 ルピア) で Sate やカレーをサーブする店 (SATE JONO) へ。そこから Taxi で影絵芝居 (Wayang kulit) を見に Taxi (20,000 ルピア) で移動しました。影絵芝居は、ガムランで奏でられる音楽は素晴らしいが、芝居は単調で語り部の内容を理解できないこともあり、すぐに飽きてしまい、居眠りをしてしまいました。多分もの凄く価値のある伝統芸能であり、礼を失したことだと思いますが、途中で切り上げ、Taxi (20,000 ルピア) でホテルへ戻りました。昼間の散策により近距離といえども歩くより Taxi で移動の方が安全であることを学びました。Taxi の初乗り料金は 15,000 ルピアということです。

1/10, 6:30 起床、運転手が、英語が話せて 10 時間チャーターすることを条件に移動手段を Tropical Transport 社 (電話: 0274-486115, email: tropical_transport@yahoo.com) を依頼しました。料金は、650,000 ルピアでした。ホテルを 8:00 に出発し Merapi 山へ向かいました。途中でドラゴンフルーツの農家に立ち寄り、初めてドラゴンフルーツが実っている光景を目にしました。次に、雲がかかっていて山頂を望むことができませんでしたが、Merapi 山山麓の散策を楽しみました。次にヒンズー教の寺院で世界遺産である Prambanan へ向いました。入場料 175,000 ルピア、



日本語が話せるガイドに 75,000 ルピアを支払い、遺跡を見物しました。JOG 中心地から 4km くらい離れた NY. SUHARTI (電話: 0274-383765) というレストランで昼食をとりました。Ayam Goreng (鶏のフライ) と Mie Rebus (スープ麺) がとても美味しかった。特に、Ayam Goreng は絶品でした。次に、Parangtriis というインド洋に面するビーチを訪れました。砂浜

の砂の粒は細かくさらさらしていましたが火山灰の影響で灰色でした。波が荒いので泳いでいる人はおらず波打ち際で水遊びをしている人々や馬や馬車に乗って楽しんでいる人々を見かけました。6:00pm 前にホテルに戻り、ローカルのお菓子類を食べて夕食代わりにしました。

1/11, 6:20 起床 10:00 にホテルを出発し Sonobudoyo 博物館まで歩きました。当博物館は、展示品は少ないがゆったりとした空間に先史時代から近代までのものが展示されています。Gamuran という民俗打楽器が正面玄関に配列されており試打させてくれる。インドネシアには仏教、ヒンズー教、イスラム教が順番に到来しており、それぞれの時代のものが展示されています。Mirota というブティックと民芸品を販売している店に寄り影絵の飾り物を購入しました。2F に食堂があり、スープ麺を昼食のためいただきました。ホテルまで、becak (ベッチャ、自転車タクシー) に乗りました。初乗り料金が 25,000 ルピアということでした。車道の真ん中を堂々と走り、反ってバイクや車が

避けて行きます。乗り心地は悪くなく、熱い日差しの中でそよ風を感じながら移動できる庶民の乗り物です。午後からホテルのジムでトレーニングをしてサウナに入り今回の旅の疲れを癒しました。最後の晩はホテルの **BBQ** を満腹するまでいただきました。

1/12, 5:30 起床, パッキングを済ませて朝食をとりました。late checkout を申請し, 13:30 にチェックアウトをし, 空港へ向かいました。ジャカルタを経由して **KK** に戻りました。ジャカルタでルピアをリングに両替するつもりでしたが, インドネシアの銀行は 4:00pm に閉店になるということで間に合いませんでした。出国手続きをすませて搭乗ゲートへ向かう途中に機内持ち込み品のセキュリティチェックを受けるポイントがありました。そこから先にレストランがあることを確認して中に入りましたが, 中には飲み物の自販機しかなく, 搭乗するまで夕食はお預けになりました。今回の旅行で最大の失敗です。やっとゼロがたくさん並んだ紙幣に慣れてきた頃にインドネシアとお別れです。充実した 1 週間あまりのたびでした。12:30am **KK** に到着し, 迎いの車に乗り, 無事にスラゴンホームステイに戻りました。深夜ゆえ **TAXI** 料金は 2 倍の 300 リングでした。

次頁に航空運賃と宿泊費を記載した旅程表を添付します。